

夏の暑い時期でも色つやが良く甘いパッションフルーツ 新品種「サニーシャイン」

国立研究開発法人国際農林水産業研究センター(JIRCAS)熱帯・島嶼研究拠点(熱研、沖縄県石垣市)が育成したパッションフルーツの新品種「サニーシャイン」(品種登録出願第30972号)は、高温期の果実の着色が良好で、収穫時の果実酸度が低い特徴があります。



熱研ハウス内の「サニーシャイン」

「サニーシャイン」の3つの特徴

- Ⓛ 従来の紫系品種の多くは、高温期(石垣では6月中旬以降)に着色不良果が多発しますが、**高温期でも着色良好**です(図A)。
- Ⓛ 収穫時の果実は、対照品種と比較して**色つやの良い外観**をもちます(図B)。
- Ⓛ **収穫直後でも果実酸度が低く**(表)、食べやすい生食用品種として期待できます。



高温期の果実着色比較

表 収穫直後の酸度と果実重の比較

品種	酸度(%)	果実重(g)
サニーシャイン	1.5	109
サマークイーン	2.3	98

平成25～27年度3年間の平均値。

いずれも0.1%水準で品種間に有意差あり。



果実外観の比較

本品種の自家増殖は法律で禁じられています。お問合せは下記までご連絡ください。



国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター 熱帯・島嶼研究拠点
広報担当: Email: pro-nekken@ml.affrc.go.jp

TEL: 0980-82-2306

FAX: 0980-82-0614

<https://www.jircas.go.jp/>

